授 業 科 目 名	必修・ 選択別	単位数	対象 学年	学 期	曜・限	主に使用 する言語	その他に使用 する言語	担当形態
循環器コース	必修	4	3	1	月～金	日本語	英語	単独

【担当教員】 高橋尚彦（循環器内科・臨床検査診断学） 宮本伸二（心臓血管外科）

【科目名の英文】 Cardiovascular Medicine

【授業の概要・到達目標】

循環器（心血管）系の構造と機能を理解し、各科日常診療の基本となる一般的な循環器疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。

具体的な到達目標	医学科ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. 構造と機能	○			○	○	○
2. 診断と検査の基本		○	○			○
3. 症候					○	○
4. 疾患				○	○	○
各DPへの関連度（計10）	1	1	2	2	2	2

【授業の内容】

回数	授業項目	授業内容	担当講座・教員	方法
1	循環器解剖学	循環器解剖学【(教) 1章】	心外・穴井	講義
2	心臓電気生理学	心筋電気生理学【(教) 2章】	循内・篠原	講義
3	心臓電気生理学	心筋の収縮と弛緩【(教) 3章】	循内・近藤	講義
4	血管生物学	血管生物学【(教) 4章】	循内・佐藤	講義
5	主要徴候	循環器疾患の主要徴候【(教) 5章】	循内・児玉	講義
6	循環器診療の基本	循環器診療の基本【(教) 6章】	循内・児玉	講義
7	心音	心音と心雑音【(教) 7章】	循内・篠原	講義
8	臨床検査	生理検査（心電図検査①）【(教) 8章】	循内・高野	講義
9	臨床検査	生理検査（心電図検査②）【(教) 8章】	循内・高野	講義
10	画像診断	検査①【(教) 8章】	放科・大地	講義
11	画像診断	検査②【(教) 8章】	放科・大地	講義
12	血圧異常	血圧異常【(教) 9章】	循内・秋好	講義
13	脂質・動脈硬化	脂質代謝異常と動脈硬化【(教) 10章】	看護・加隈	講義
14	冠動脈疾患	冠動脈疾患【(教) 11章】	循内・山内	講義
15	心膜・心筋疾患	心膜・心筋疾患【(教) 12章】	循内・米津	講義
16	心臓弁膜症	心臓弁膜症【(教) 13章】	循内・福田	講義
17	弁膜症の外科	心臓弁膜症・心臓腫瘍【(教) 13章・14章】	心外・森	講義
18	心不全	心不全【(教) 15章】	循内・手嶋	講義
19	不整脈	不整脈【(教) 16章】	循内・高橋	講義
20	肺性心疾患	肺性心疾患【(教) 17章】	循内・齋藤	講義
21	血管疾患	血管疾患【(教) 18章】	心外・首藤	講義
22	先天性心疾患	先天性心疾患①【(教) 19章】	小児・佐藤	講義
23	先天性心疾患	先天性心疾患②【(教) 19章】	小児・佐藤	講義
24	失神	失神【(教) 20章】	循内・篠原	講義
25	薬物治療	循環器疾患治療薬の作用機序①【(教) 21章】	循内・福井	講義
26	薬物治療	循環器疾患治療薬の作用機序②【(教) 21章】	循内・近藤	講義
27	薬物治療	循環器疾患治療薬の作用機序③【(教) 21章】	循内・近藤	講義
28	臨床検査	心電図検査	循内・近藤	講義
29	臨床検査	心エコー	循内・福田	講義
30	不整脈	不整脈の分類と発生機序	循内・高橋	講義

31	不整脈	不整脈の治療法	循内・高橋	講義
32	電解質異常	電解質異常	循内・福井	講義
33	心不全	心不全の病態と生理	循内・手嶋	講義
34	心不全	心不全の薬物療法	循内・手嶋	講義
35	心膜・心筋疾患	心膜・心筋疾患	循内・齋藤	講義
36	虚血性心疾患	心カテーテル検査法	循内・山内	講義
37	虚血性心疾患	ACS と狭心症の診断と治療①	循内・秋岡	講義
38	虚血性心疾患	ACS と狭心症の診断と治療①	循内・秋岡	講義
39	虚血性心疾患	ACS と狭心症の診断と治療①	循内・秋岡	講義
40	不整脈	頻脈性不整脈	循内・高橋	講義
41	不整脈	徐脈性不整脈	循内・高橋	講義
42	心不全	心不全の非薬物療法	循内・篠原	講義
43	高血圧症	高血圧症の発症機序と診断	循内・秋好	講義
44	高血圧症	高血圧症の治療	循内・秋好	講義
45	心臓リハビリテーション	心臓リハビリテーション	循内・江崎	講義
46	特別講義	特別講義	循内・志賀 (非)	講義
47	外科治療	深部静脈血栓症と肺血栓塞栓症の外科	心外・岩田 (非)	講義
48	発達循環器	発達循環器①	小児・岸本	講義
49	発達循環器	発達循環器②	小児・岸本	講義
50	発達循環器	発達循環器③	小児・岸本	講義
51	体外循環・補助循環	体外循環・補助循環	心外・穴井	講義
52	外科治療	末梢血管の外科	心外・河島	講義
53	外科治療	虚血性心疾患の外科	心外・穴井	講義
54	外科治療	大血管の外科	心外・宮本	講義
55	外科治療	先天性心疾患の外科	心外・宮本 (非)	講義
56	特別講義	特別講義	心外・小柳 (非)	講義
57	画像診断	心血管系画像診断①	放科・道津	講義
58	画像診断	心血管系画像診断②	放科・道津	講義
59	画像診断	心血管系画像診断③	放科・道津	講義
60	予防医学	動脈硬化性疾患の予防	公衛衛生・斉藤	講義

【アクティブラーニングの内容】 チュートリアル形式のPBLを2回実施し、発表会を行う。グループやペアによる共同学習、小テスト。	【その他の工夫】 動画 (DVD)、CD、Moodle を使用した e-learning。

【時間外学修の内容と時間の目安】	
準備学修	教科書や配布資料で予習 (60h)。
事後学修	チュートリアルの自学、グループ学習 (4h/回)、配布資料を用いて復讐する (60h)
想定時間合計	124 時間

【教科書】
シンプル循環器学 (南江堂、編集：犀川哲典/小野克重、2015 年 4 月出版、ISBN: 978-4-524-26453-7) : 教科書を用いて授業を行うので、毎回持参すること。

【参考書】
ハーバード大学テキスト・心臓病の病態生理 第4版 (メディカルサイエンス・インターナショナル、翻訳：川名正敏、川名陽子、川名正隆、2017 年 8 月出版、ISBN: 978-4-89592-891-5)、不整脈学 電子版 (南江堂、編集：井上博/村川裕二、2012 年 9 月出版、ISBN: 978-4-524-28497-9)、病気が見える vol.2 循環器 第5版 (編：医療情報科学研究所、ISBN: 978-4896328301)

【成績評価方法及び評価の割合】
授業時間の 2/3 以上の出席がなければ、受験資格を与えない。コースの最後に筆記試験を行い「具体的な到達目標」を評価する (80%)、その結果と日頃の授業態度 (20%) を総合的に判断して可否を決定する。総合的に 60%の得点で合格とする

【注意事項】

コースの講義は教科書（シンプル循環器）に沿って授業を行う。

【備考】

最終時間割はコース前に配布する。

リンク		
	URL	https://glms.cc.oita-u.ac.jp/login/index.php
教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	医師	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	無	
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容	心臓の解剖、生理、病理、診断や各種心血管疾患の病態ならびに原因因子、治療方法について講義する。	
授業形態	対面授業	